



とねがわ ばんどうたるう
利根川のことをどうして板東太郎というの

りゅういきめんせき にほんいち
流域面積は日本一

「板東」という名前は昔の関東平野のよび方で、「関八州」ともいわれ、関東地方の古いよび方の8か国（相模、武蔵、安房、上総、下総、常陸、上野、下野）をさしていました。この関東地方を流れる最大の川は、「利根川」です。水源は新潟県に近い群馬県の水戸市から始まって関東平野を通り、最後は太平洋に注いでいます。長さでは新潟の信濃川が日本一ですが、流域面積では関東地方の大半をしめていて、日本一です。

おお かわ ちめい ひと なまえ
大きな川を、地名と人の名前だよぶ

昔から大きな川を、地名と人の名前にたとえてよぶ習慣があって、この日本最大の川は「板東太郎」とよばれたのです。太郎は長男を表します。ちなみに九州の筑後川は「筑紫次郎」とよばれる次男坊、四国の吉野川は「四国三郎」とよばれる三男坊ということになっていますが、その長男だというわけです。（監修・保岡 孝之）

